

問1 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？

1. 国司 2. 惣領 3. 郡司 4. 里長

問2 元明天皇が藤原京から都を移し、奈良時代が始まった年号は何という？

1. 710年 2. 794年 3. 1185年 4. 645年

問3 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？

1. 天武天皇 2. 桓武天皇 3. 孝徳天皇 4. 聖武天皇

問4 743年に出され、開墾した土地を永久に私有することを認めることで、土地の私有化を広めた法律を何という？

1. 大化の改新 2. 墾田永年私財法 3. 三世一身法 4. 大宝律令

問5 奈良時代、租庸調の税を納める際に、荷物の内容や送り主などを記すために使われた木製の札は何という？

1. 戸籍 2. 正税帳 3. 木簡 4. 計帳

問6 律令制において、郡の長として地方の政治を担った有力者を何という？

1. 豪族 2. 百姓 3. 貴族 4. 渡来人

問7 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？

1. 新古今和歌集 2. 懷風藻 3. 古今和歌集 4. 万葉集

問8 律令制度において、神祇官と共に二官の一つとして行政の統括を担った機関を何という？

1. 神祇官 2. 太政官 3. 弾正台 4. 検非違使

問9 行基が協力したことでも知られる、聖武天皇が国家の安泰を願って奈良に造営した巨大な仏像を何という？

1. 東大寺の大仏 2. 法隆寺の釈迦三尊像 3. 薬師寺の仏像 4. 興福寺の仏像

問10 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？

1. 庚午年籍 2. 租庸調 3. 班田収授法 4. 戸籍法

問11 律令制度のもと、中央政府から地方に派遣されて郡司を指揮し、各地の統治を担当した役人を何という？

1. 太宰帥 2. 国司 3. 郡司 4. 里長

問12 奈良時代の班田収授法において、政府が戸籍に基づき土地（口分田）を分け与える対象となったのは何歳以上の男女？

1. 15歳以上 2. 17歳以上 3. 21歳以上 4. 6歳以上

問13 奈良時代、政府による統制が強まる中で、民衆の間を巡り歩いて深く信仰を集めた宗教を何という？

1. 仏教 2. 道教 3. 儒教 4. 神道

問14 令制国に派遣され、徴税や裁判といった地方の行政を担った官吏を何という？

1. 郡司 2. 里長 3. 国司 4. 防人

問15 奈良時代、聖武天皇が仏教による国家の守護を目指して、国分寺の総本山として都に建立させた寺院は何という？

1. 唐招提寺 2. 東大寺 3. 興福寺 4. 法隆寺

問16 朝廷が令制国ごとの土地の由来や産物などを記録させた地理書を何という？

1. 万葉集 2. 日本書紀 3. 古事記 4. 風土記

答え合わせ・解説

問1	答え 3 郡司	「郡司」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。かつて地方の有力豪族であった人々が任命されました。都から派遣された「国司」をサポートし、税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。
問2	答え 1 710年	710年、元明天皇は藤原京から平城京へ都を移しました。平城京は、大陸の都にならった碁盤の目状の区画（条坊制）を持ち、宮殿を中心に政治機能が集約された都市です。これにより、天皇を中心とした国家の威信を内外に示すとともに、官僚機構による効率的な統治が可能となりました。
問3	答え 4 聖武天皇	聖武天皇は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。彼の没後、光明皇后がその冥福を祈り、愛用していた多くの品々を東大寺に奉納したものが、現在の正倉院の宝物となっています。
問4	答え 2 墾田永年私財法	政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定しました。これにより、新しく開墾した土地の私有が永久に認められるようになりました。それまで制限されていた土地所有が可能となったため、人々は競って開墾を行い、生産性を高めようとしてしました。
問5	答え 3 木簡	木簡は主に松や杉などの板を薄く削って作られ、墨で文字が書かれました。これには税の品目や産地、送り主などが記されており、現在の配送伝票のような役割を果たしました。
問6	答え 1 豪族	郡司は、国司の指揮下に入り、戸籍の作成や徴税の補助といった行政の実務を行いました。終身制であったため、現地の地盤を持つ豪族たちがその地位を世襲的に継承することが一般的でした。
問7	答え 4 万葉集	万葉集は、現存する日本最古の和歌集です。歌人としても有名な大伴家持が編纂に大きく貢献したとされており、奈良時代末期までに完成しました。収録されている歌は、天皇から防人、農民まで非常に幅広い階層の人々によって詠まれたものであり、当時の多様な人々の感情や生活文化が生生きと表現されています。
問8	答え 2 太政官	太政官は、八省を統括し、国政の運営を担当する最高機関です。長官である太政大臣を中心に、左大臣、右大臣などが政治の実務を行いました。
問9	答え 1 東大寺の大仏	「東大寺の大仏」は、鎮護国家の精神を象徴する巨大な銅像です。完成には膨大な費用と人員が必要であり、聖武天皇は人望の厚い僧・行基に協力を仰ぎました。多くの民衆や貴族が造営に関わり、ようやく完成しました。
問10	答え 3 班田収授法	班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。
問11	答え 2 国司	国司は都から派遣された貴族階級の官僚で、現地の有力者である郡司を指導し、税の徴収や戸籍の管理、治安維持を行いました。地方行政の最高責任者として大きな権力を持っていました。
問12	答え 4 6歳以上	戸籍（庚午年籍など）を6年ごとに作り直し、6歳以上の男女に対して、身分や性別に応じた広さの口分田を貸し出しました。この制度により、政府は確実な徴税を目指しました。
問13	答え 1 仏教	当時の仏教は、国家の公的な儀式のみならず、次第に一般民衆の生活や心にも浸透していきました。行基などの僧侶が、禁じられていた私的な布教活動を行い、民衆を救済するために活動したことで、広い層に広まりました。
問14	答え 3 国司	国司は、国府を拠点として、租庸調の徴収や公共事業、裁判など地方における行政実務を一手に担いました。これにより、中央政府の命令が地方のすみずみまで行き届く仕組みが完成しました。
問15	答え 2 東大寺	聖武天皇の命により、各国の国分寺を束ねる総本山として建設されました。特に本尊である大仏の建立は、当時の国家プロジェクトとして非常に大きな規模で行われました。
問16	答え 4 風土記	風土記には、その土地の名前の由来、特産物、地形、古い伝承などが詳しく記されています。現存するものとしては、『出雲国風土記』が非常に詳しいことで知られています。